

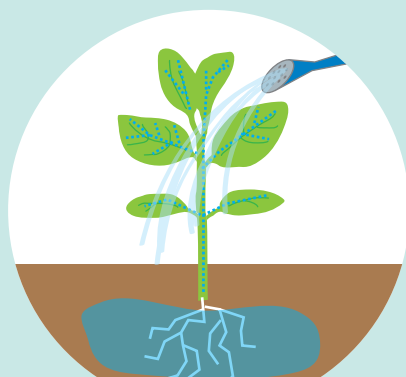
緑のカーテンで 夏を涼しく

緑のカーテンとは？

アサガオやヘチマのように、ツルが伸びて何かに巻き付いて伸びる種類の植物（ツル性植物）で作る、自然のカーテンのことです。夏の暑い日に、葉っぱの間をすり抜けてくる涼しい風は、天然のエアコンのよう。また、野菜を収穫できたり、お花を楽しめたり、とても楽しいカーテンなのです。



緑のカーテンが涼しいワケ



植物は、水やりをすると、まず土が水を蓄えます。土に蓄えた水を、根が吸い上げて、上まで運んで、葉っぱにも水分を行き渡らせます。

根から水分を吸い上げた葉っぱから、水分が蒸発するときまわりの空気の熱が奪われます。これを葉っぱの蒸散作用といいます。



水のベールでおおわれたカーテンの間を風が吹き抜けてきます。まさに生きているカーテン！体にも地球にも優しい天然のエアコンのような役目を果たするのが「緑のカーテン」なのです。

用意するもの

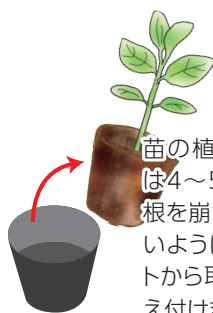
- プランター
- 市販の培養土
- つるを這わせるネット・トレリス・ラティスなど
- 肥料 ●鉢底石 ●鉢底ネット
- 移植ゴテ ●ハサミ
- 誘引用のひも（ビニタイ）など



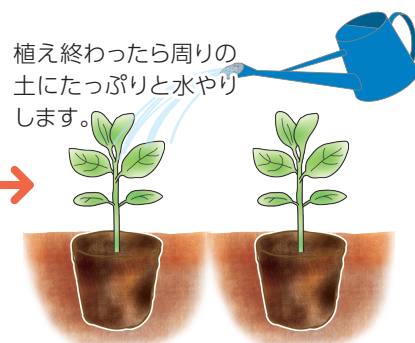
植え付け



プランターの底に鉢底ネットを敷き、底が見えなくなるくらいの軽石を入れます。次いで培養土をコンテナに入れます。



苗の植え付け適期は4～5月下旬頃。根を崩さず、傷めないように優しくポットから取り出して植え付けます。

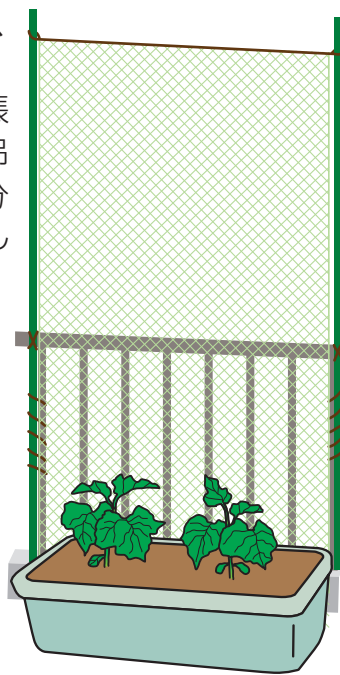


植え終わったら周りの土にたっぷり水やりします。

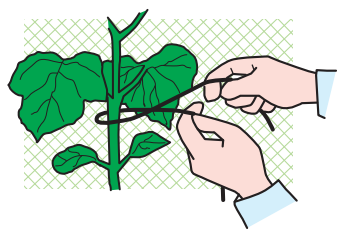
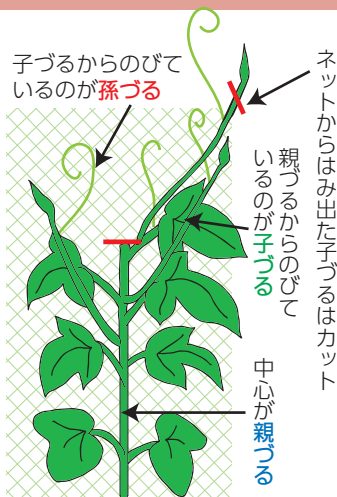
緑のカーテンを育てる

苗が大きくなってきたら、ネットの準備をします。支柱を立ててネットを張ったり、軒からネットを吊るしたりして、つるが十分にのびせる場所を確保してやります。

マンションなどのバルコニーに設置する場合、バルコニー全面をふさがないようにします。火災などの際の救助に支障が出る可能性があるためです。



本葉が5〜7枚になったら、親づるの先（真ん中のつるの先）を2〜3cm切ります。さらにぐんぐん伸びて、子づるがネットからはみ出たら、はみ出たつるをカットします。孫づるのはびたらネットに戻しましょう。親づるを切ると、子づる・孫づるに栄養がいき渡り、ぐんぐん育って立派な緑のカーテンになります。立派な実や花をつけさせるためにも、忘れないように切りましょう。



つるが伸びてきたら、上手く巻き付くようにネットなどに誘引しましょう。扇形に伸びていけるように誘引するとうまくカーテンのように広がります。

大きく育てて緑のカーテンの涼しさ、実や花を満喫してください。

秋になって、緑のカーテンが枯れてしまったら、種を収穫して大事に来年まで保管しておきましょう。種は収穫したら、風通しのよい冷暗所で乾燥させ、密閉容器に入れて冷蔵庫などに入れておくといでしょう。種の収穫が終わったら、ネットからつるをはずしてキレイに片付けます。

緑のカーテンにぴったりの植物



ゴーヤ



アサガオ



キュウリ



ヘチマ

ほかにも
つる性植物を
探してみよう!



禁複製



アプリ限定クーポンでお得にお買物!!

アヤハディオアプリ 会員募集中!



**アヤカ
ポイントも
貯まる!**



アプリ
ダウンロードは
こちら▶▶



Download on the
App Store



ANDROID APP ON
Google play

